

紫峰の風

shihou no kaze

筑波大学

University of Tsukuba

第21号 2021年7月

「紫峰の風」は学生生活の様子や活動の報告を紫峰会基金協力者の皆様にお届けする広報誌で、紙面の企画や記事の取材等は学生広報会議や広報部会の学生が実施しています。この名称には「筑波の峰から吹き降りる風に、我々の活動への想いを乗せて、全国の皆さまのもとへとお届けする」という意味が込められています。

本学の校章



「五三の桐葉型」は1903年に改定された東京高等師範学校生徒徽章に始まり、1949年制作の東京教育大学学生バッジにも受け継がれました。1974年本学評議会において「紋章については東京教育大学の伝統を引き継ぎ」桐の葉とすることが了承されました。「五三の桐」と呼ばれる図形には、我が国の伝統的な紋章一般がそうであるように多くのヴァリエーションがありますが、本学の校章は花の部分のみ「蔭」(アウトライン)で表される独特のもので、

筑波大学基幹サイト「大学案内」より引用

広い構内では、多くの桐の樹木を見ることができ、季節によって花や葉を楽しむことができます。



審判講習会でのキックベースの様子 2021(令和3)年4月撮影



審判講習会でのドッチボールの様子 2021(令和3)年4月撮影

スポーツ・デー学生委員会：春の活動内容と秋に向けた取り組み

皆様、こんにちは。第45代スポーツ・デー学生委員会委員長の田岡佑基です。新年度が始まり4カ月が過ぎようとしています。我々スポーツ・デー委員は、昨年度の11月頃頃から春に向けた取り組みを始め、4月には新たに多くの新入生を委員として迎え共に準備を進めてきました。主な活動内容として、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑みて柔軟に対応しつつ、週一回の上級生ミーティングと、1年生を含めた全体ミーティング、春正式種目の審判講習会、春スポーツ・デー実行計画書案の作成などを行いました。残念ながら、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により春季スポーツ・デーも開催中止となってしまいましたが、現在は秋に向けて新たに活動を続けています。7月には、秋の運営をより円滑に行うためのスポーツ・デー学生委員会内での運営研修会を開催予定としています。

そこで見つかった反省点や改善点は今後の対策として秋のスポーツ・デー運営の成功の糧にします。11月20日、21日には秋季スポーツ・デーの開催が予定されています。参加者の皆様を楽しめるように、委員一同、精一杯準備していきますので、変わらぬご支援よろしくお願いたします。

(寄稿/第45代スポーツ・デー学生委員会委員長 田岡佑基・工シ3年)

今後の主な予定 (変更になる場合があります)

春ABCモジュール期末試験	7月30日~8月5日
同(東京キャンパス・夜間)	7月24、27、28、30日、8月5日
春学期授業終了	8月5日
同(東京キャンパス・夜間)	7月29日
期末試験予備日(東京キャンパス・夜間)	7月31日、8月3、4日
春Cモジュール期末試験	8月6日
夏季休業	8月7日~9月30日
(東京キャンパス・夜間)	8月6日~9月30日
春学期卒業式	9月24日
春学期大学院学位授与式	9月24日
秋学期入学式	9月30日
秋学期授業開始	10月1日
同(東京キャンパス・夜間)	10月1日
学園祭(オンライン)	11月6、7日(予定)
秋季スポーツ・デー	11月20、21日(予定)

—内容—

キャンパスニュース	1、2頁
課外活動、全代会活動紹介	3、4、5頁
学生の一週間	6頁
課外活動団体の作品写真紹介	7頁
学生相談室から、桐の葉日記	8頁

キャンパスニュース

やどかり祭2年連続の中止

筑波大学宿舎祭、通称やどかり祭は、「新入生同士に仲良くなってもらう機会を提供すること」というコンセプトのもと、例年5月末に開催しております。やどかり祭は、クラスやサークルで出店する「模擬店」や自分たちが一から作り上げた御輿でパフォーマンスを行う「御輿企画」、各学類、有志の新入生がチームを組みパフォーマンスを行う「ゆかたコンテスト」など多くの企画で毎年大いに盛り上がります。

しかし、残念ながら2021年度の宿舎祭は感染症拡大防止などの観点から中止が決定しました。みなさまにやどかり祭というイベントを提供できないのは断腸の思いではありますが、来年度

の開催を第一に考え活動を続けていきます。2年連続の中止となり、仕事の引き継ぎや委員の確保など実行委員会としての課題もたくさんありますが、委員一丸となり伝統を継承させ、やどかり祭を必ずや復活させますので、来年度以降もやどかり祭をよろしくお願致します。

最後になりますが、やどかり祭はご支援して下さる筑波大学紫峰会基金、協賛店舗ならびに団体のみなさまや参加して下さる学生や近隣住民の方々のおかげで開催することができています。委員長として心よりお礼を申し上げます。

(寄稿/第47回宿舎祭実行委員会委員長 望月圭・応理3年)



写真左から：メインストリートの様子/御輿の様子/ゆかたコンテストの様子
これらの写真は、2019年に開催された第45回やどかり祭にて撮影されたものです。

吹奏楽団第85回定期演奏会

吹奏楽団は、6月12日つくば市ノバホールにて第85回定期演奏会を開催しました。多くの皆様のご協力のもと約1年半ぶりに演奏会を開催することができ、団員一同心より感謝しております。次回は12月12日(日)に開催予定です。皆様のご来場お待ちしております。

(寄稿/筑波大学吹奏楽団団長 小林萌愛・数学3年)



第85回定期演奏会当日 2021(令和3)年6月12日撮影

ピアノ愛好会35周年記念コンサート

昨年はコンサートも通常活動もなかなかできず苦しい一年となりましたが、6月13日つくばカピオにて何とかコンサートを決行することができました。演奏者の皆さんのすばらしい演奏のおかげか、会場には予想よりもはるかに多くのお客様にお越しいただくことができました。今後も会員一同、ピアノと親しむことを忘れず活動していければと思います。

(寄稿/筑波大学ピアノ愛好会会長 中島蒼太・人文3年)



35周年記念コンサート演奏の様子 2021(令和3)年6月13日撮影

管弦楽団第89回定期演奏会

6月20日つくば市ノバホールにて開催された演奏会は当団にとって実に1年半ぶりとなる演奏会でした。久々で不安な面も多々ありましたが、様々な方のご協力もあり、このようなご時世の中、無事本番の日を迎えることができました。

最後の音が鳴り終わると万雷の拍手をお客様から送っていただき、その時に演奏会の存在意義や素晴らしいさを改めて感じました。

(寄稿/筑波大学管弦楽団団長 有田英樹・地球3年)



第89回定期演奏会当日リハーサル風景 2021(令和3)年6月20日撮影

令和3年度筑波大学学園祭

令和3年度筑波大学学園祭(11月6日・7日開催)は、対面開催を中止し、オンラインでの開催となります。最新情報や詳細については、Webサイトにてご確認ください。

【Webサイト】<https://sohosai.com/>



課 外 活 動

JAZZ愛好会



新歓ライブの様子 2021(令和3)年5月16日撮影

JAZZ 愛好会は、コンボという少人数編成でジャズを演奏しています。毎週金曜日のセッションと定期ライブが主な活動です。例年は夏合宿で猛練習をしたり、学園祭で生演奏が楽しめるジャズ喫茶 FULLHOUSE を開店したりと、活発に活動しています。しかし、昨年度はリモートでの活動が続ぎ、合宿も FULLHOUSE も実施できませんでした。現在は、感染対策を徹底しながらセッションやライブ演奏を再開し、各々がジャズに真剣に向き合っています。12月にクリスマスコンサート、3月に追い出しコンサート、5月には新歓ライブを開催し、多数のバンドが出演しました。さらに、今年度は学類生から院生まで約30人もの学生が入会して賑わいを取り戻しています。今後もメンバーがジャズによって心の歓びを達成できるよう、日々活動して参ります。

(寄稿/JAZZ 愛好会会長 大吉ひなた・人文3年)

海洋研究会



フィンやブーツなどを試着してプール内を泳いでいる様子 2021(令和3)年5月8日撮影

海洋研究会では、スキューバダイビングをする際に安全にダイビングを行うために、そのダイビングの練習として、プールで対面活動を行っています。プールでの練習では、プール入館時に手の消毒、プールに入水するとき以外ではマスクの着用を徹底して行うようにしています。また、プールの窓は必ず開けて常に換気される状態での活動を行っています。

週に1度文化系サークル会館の海洋研のブースでミーティングを開いています。ミーティングでは常にマスクを着用して、参加者の人数に制限をかけ、10名を超えないように活動しています。対面で参加した人には必ず、健康観察記録表を提出してもらい、感染症対策を徹底しています。

(寄稿/海洋研究会 由本竜資・生物3年)

男声合唱団メンネルコール

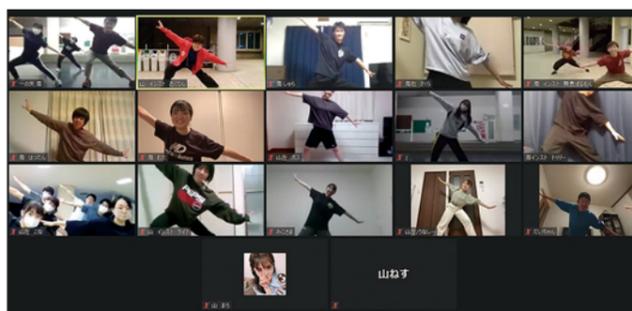
男声合唱団メンネルコールは、筑波大学の課外活動団体の中で唯一の男声合唱団として精力的に活動しています。単独演奏会などで団としての演奏機会を設けているだけでなく、団外の交流も盛んです。他大学と合同演奏会を行うなど、学外との交流を行っている他、筑波大学内の他合唱団とも交流会などを通じて交流しています。昨年度は残念ながら課外活動の自粛などの影響により思うように活動できませんでした。徐々に活動が許可され始めている情勢に併せて、可能な範囲で当団も活動を再開し始めています。

具体的な活動としては、昨年度ではなくそれ以前の情報にはなりますが、東京で行われた五大学ジョイントコンサートに当団も参加し、首都大学東京グリークラブ(現、東京都立大学グリークラブ)、上智大学グリークラブ、明治大学グリークラブ、横浜国立大学グリークラブと交流を行いました。また、第4回単独演奏会ではOBとの合同ステージを設け、幅広く上の世代と交流しました。大学や年代にとらわれずに様々な人と関わりを持つことで、団員達の知見を広げ、また合唱を通じて芸術の幅広さや奥深さを知ることができました。

現在においても、活動の再開に併せて外部の合唱団からの賛助出演の依頼が届いている状態です。今後も情勢を見つつ、しかし団員達にとって最も利となるように、さらに活動を拡げていく予定です。

(寄稿/男声合唱団メンネルコール代表 神野智樹・知識4年)

斬桐舞



オンラインでの練習の様子 2021(令和3)年5月19日撮影

斬桐舞では、大学からの要請に基づき対面とオンラインを切り替えながら日々練習に取り組んでいます。オンラインでの練習ではzoomを用いて毎週水曜日と日曜日に2時間練習を行っており、毎回たくさんの方が練習に参加してくれています。練習では、新一年生のために振り方を教えたり、振りの復習をしたりしています。毎回、担当の舞員がメンバーの踊る様子を確認しながら、踊り方のコツなどを解説するという形で練習を進めており、踊りの完成度をあげるために工夫して練習しています！オンラインでの練習なので、メンバーとのコミュニケーションもパソコンの画面越しとなってしまう少し寂しいですが、「今できることは全力でやろう！」という思いのもと、オンラインでの練習に踏み切りました。大変な世の中ですが、これからも斬桐舞一同、日々練習に励んでいこうと思っています！

(寄稿/斬桐舞広報 佐藤綾香・生物3年)

課 外 活 動

女子ソフトボール部



春季リーグ戦 2021(令和3)年5月5日撮影

女子ソフトボール部は、メニュー班を中心に自分たちで練習メニューを決めるほか、運営のすべてを学生が担う学生主体のチームです。体育専門学群以外の学類の学生が半数以上を占め、大学からソフトボールを始めた部員も多くいます。様々な境遇の様々なレベルのプレーヤーが一丸となって、週3回という少ない練習時間のなかで効率よく質の高い練習をするために、工夫を凝らし練習に取り組んでいます。

また、今年度は11人もの新入生が入部してくれました。たくさんの1年生が仲間入りしたことは上級生にもいい刺激になり、更ににぎやかに、そして互いに切磋琢磨しながらとてもいい雰囲気練習ができています。

「2部リーグ優勝・1部昇格、インカレ出場」を目標に、そして今このような状況下で活動できていることへの感謝の気持ちを忘れず、これからも頑張っていきます。

(寄稿/女子ソフトボール部主務 赤宗珠未・看護2年)

女子ラクロス部



2020年特別大会一戦目 2020(令和2)年12月6日撮影

現在、女子ラクロス部ではコロナウイルスの感染対策に努めながら、「走破」というスローガンの下、日々練習に励んでいます。しかし、元々部員数が少ないことに加え、学類からの指示のため、全体の3分の1程度を占める看護学類の部員が練習に参加することができず、限られたメニューしかできていないのが現状です。また、練習試合ができなかったり、リーグ戦の日程が決まらなかったりと先が見えないため、不安な気持ちになっている部員も多くいます。そんな中で、目標である「二部昇格」を達成できるよう、全員で支え合いながら今シーズンを走り抜こうと思います。コロナウイルスの影響がいつまで続くかは分かりませんが、部員全員でコート思い切り走り回れる日が早く来てくれることを祈っています。

(寄稿/女子ラクロス部 伊藤香菜子・生物3年)

柔道部



練習後の自主練習 2021(令和3)年6月17日撮影

我々『筑波大学体育会柔道部』の起原は柔道の創始者である嘉納治五郎先生が校長を務められていた高等師範学校時代の1894年に求める事ができ、そこから数えると100年を超える伝統を誇ります。その歴史の中で数々の選手を輩出し、世界チャンピオンとなる選手も輩出してきました。

現在の柔道部は体育専門学群をはじめ社会・国際学群、理工学群など様々な学群学類の部員が在籍しており、加えて留学生も在籍しています。現在はコロナの影響で合同練習会や海外選手の受け入れ等が思うように行えていませんが、換気や手洗い等の感染対策を行った上で自主的に出来ることを行い、日々精進しています。皆様の期待に応えることが出来るよう頑張りますので応援よろしくお願い致します。

(寄稿/柔道部主務 茂島荘一郎・体専3年)

医学バスケットボール部



活動自粛前の現役部員対OB・OGの方との試合後 2020(令和2)年1月撮影

私たち医学バスケットボール部は、週3回、主に第2体育館にて練習を行っています。各2時間という限られた練習時間をしっかりと意味のあるものにするために、部員同士の積極的なコミュニケーションを日々意識しています。指導者はいませんが、幹部を中心にチームに合った練習を考えて、実践しています。また、プレーヤーを支えてくれているマネージャーも大切な存在で、共にバスケットに向かっています。

現在は新型コロナウイルスの影響によって、活動が全くできていない状態ですが、この状況を自分たちが大いに成長できるチャンスと捉えています。また、新たに部に加わってくれる1年生とともに、より一層切磋琢磨しながら、大会優勝という目標を実現させるため、活動再開に向けてそれぞれがレベルアップしていきたいと思っています。

(寄稿/医学バスケットボール部主将 大野友輝・医学3年)

紫峰会基金に寄附して下さった皆さまへ

新型コロナウイルス感染症の対策対応中にもかかわらず、多くのご寄附をいただきありがとうございます。皆さまからいただいたご寄附の全額を課外活動団体援助金等として使用させていただいております。援助金のおかげで活動にかかる負担が減り、学業や課外活動をより充実させることができました。現在課外活動は、通常通りの運営はままならないながらも、出来る限りの感染対策の徹底と注意喚起を講じながら精一杯取り組んでいます。今後も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

課外活動団体一同

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議活動紹介

議長挨拶

「紫峰の風」をお読みの皆様、日頃より全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議(以下、全代会)へのご信任とご支援をいただきましてありがとうございます。この度、令和3年度全代会議長に就任いたしました、知識情報・図書館学類2年次の森本ひのきと申します。この場をお借りして着任のご報告をさせていただきます。

全代会は、「学生の利益、権利を守る」ために活動している学生組織であり、学生の意見を大学側に届けるために日々活動しております。例えば、昨年度全代会は5月にオンライン授業に対する全学的なアンケートを実施いたしました。昨年5月といえば、新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の事態により急速授業がオンラインで行われ、様々な混乱が起こっていた時期でございます。十分な準備時間がない中、完全オンラインによる授業が行われた結果、学生と先生方とのつながりを弱体化させ、大学が学生の意向を把握できていない状況に陥りました。そんな中行われたオンライン授業に対する全学的なアンケートには、1000件以上の回答や意見が寄せられました。全代会はそれらを集計し、6月には結果を教育担当副学長、学生担当副学長に報告し、学生の生の意見をいち早く大学側に伝え、教育組織におけるオンライン授業の改善に大きな影響を与えました。これはまさに「学生の利益、権利を守る」ための活動であります。このように、全代会は学生のために構成員が一丸となって鋭意活動しております。

今年度全代会は、「学生の意見をより多く取り入れる窓口設置」を方針として掲げ活動していく所存です。「学生の利益、権利を守る」ためには、学生から多くの意見を取り入れ、それぞれに対処することが必要不可欠です。しかしながら、現在の全代会では学生からの意見を十分に吸い上げることができていない状況にあります。先

に述べましたオンラインに対するアンケートでは1000件を超える回答・意見を学生から取り入れることができましたが、これは当時学生の関心を集める話題であったことが、大きな要因であったと考えております。一方で、常時実施している教育生活環境調査への昨年度の回答は極めて少なく、多くの学生からの意見を集めることができませんでした。これは、大学構内での学生生活が激減し、全代会という組織や活動内容の発信がオンラインに限られたことによる全代会認知度の低下や、アンケートの学生への配布を依頼している各学類等のクラス代表者会議との連携不足が原因としてあげられると考えております。そこで、学生の目につくところに全代会のポップを設置したり、教育生活環境調査へのアクセスを増やすための改良を加えたり、各学類等のクラス代表者会議との関係を強化するためにクラス代表者会議との懇談を行ったりしていきたいと考えております。

全代会は学生一人一人の生活を向上させるべく、今後も精一杯活動してまいります。全代会という組織を今後とも応援していただくとともに、お気づきの点がございましたらお声がけいただければと存じます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(寄稿/全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議議長 森本ひのき・知識2年)



1年間の活動予定

- ・6月—学長と全代会構成員の懇談会
学長以下教職員の方々をお招きして、全代会の今年度の活動内容を説明するとともに、意見交換をします。
- ・8月—クラス代表者会議議長懇談会
各学類クラス代表者会議議長と座長を集めて、クラス代表者会議の運営状況の報告、そのほか意見交換をします。
- ・12月—副学長等と全代会構成員の懇談会
副学長や各学群長・各学類長の方々をお招きして、全代会が提案した話題について討論会を行います。

- ・12月～2月—つくば市長と筑波大学学生との懇談会
つくば市長をお招きしてつくば市長のまちづくり等や学生からの事前アンケートに基づいて意見交換をします。
- ・3月—全代会報告会
大学の教職員の方々を前に、1年間の活動を振り返り、総括と反省を行うとともに、次年度への方策を述べます。このほかにも、学園祭をはじめとした全学的なイベント、学生からの意見の大学への報告などを行い、学生がより有意義な大学生活を過ごせるような活動をしてまいります。

(寄稿/全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議副議長 佐藤翔哉・物理2年)

調査委員会

調査委員会は全代会を構成する6つの常任委員会の1つです。我々は主に教育環境委員会、生活環境委員会からの依頼を受けて、学生から届いた声を詳細なアンケートや実地調査によって裏付け・補強し、学生を取り巻く環境をよりよくする要望を大学側に提出するために必要な情報を提供しています。昨年度はオンライン授業や土曜授業といった前例のない事態を前に、授業形態や課題量等、学生の現状をオンラインアンケートにて調査いたしました。今年度も既に多くの学生から、対面

授業実施や日中の宿舍の暖房稼働時間延長の要望といった、今の世相を反映した意見が続々と届いております。また、対面授業が徐々に増えてきた影響で、昨年度に比べ大学構内の設備に関する意見も増えています。コロナ禍を機にガラリと変わってしまったこの世界で、少しでも理想に近い学生生活が送れるよう、全力を尽くしてまいります。

(寄稿/全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議調査委員長 笠嶋梨緒・地球2年)

学生の一週間

ここでは「オンライン授業」が中心である学生と「対面授業」が中心である学生を例に挙げ、筑波大生がどのような生活を送っているのかを紹介いたします。また、これは春Aモジュール(4月～5月)のものであります。

3年 Aさん 「オンライン授業」が中心

工学システム学類に所属する3年生Aさんはサークルや勉強により充実した生活を送っています。しかしCovid-19の影響によりオンライン授業が中心となっており、実家で生活しているため、友人とはあまり会えていないそうです。そんな中でもゲームやTwitterをしているときに至福の時だそうです。

	月	火	水	木	金	土	日
6		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠		
7	睡眠					睡眠	睡眠
8		朝食	朝食	朝食	朝食		
9	朝食	オンライン授業	オンライン授業	オンライン授業	オンライン授業		
10	趣味			課題		朝食	朝食
11	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	趣味	趣味
12				課題		昼食	昼食
13				オンライン授業	オンライン授業		課題
14	オンライン授業	オンライン授業	オンライン授業	趣味		課題	
15							趣味
16				移動		移動	
17							
18	趣味	趣味	趣味	サークル	趣味	サークル	課題
19					夕食		夕食
20	夕食	夕食	夕食	夕食	課題	夕食	課題
21	課題	課題	課題	課題	風呂	課題	風呂
22	風呂		風呂	課題	課題	風呂	趣味
23	趣味	風呂	課題	風呂	課題	課題	
24		課題		趣味		課題	
1							
2	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
3							

2年 Kさん 「対面授業」が中心

芸術専門学群2年のKさんは、毎日の授業と課題制作で忙しくも充実した生活を送っています。課題とは別に、自主的な製作活動を行うことも楽しみにしているそうです。

	月	火	水	木	金	土	日
6		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠		
7	睡眠			対面授業		睡眠	睡眠
8							
9	朝食・身支度	朝食・身支度	朝食	自由時間	朝食・身支度		家事
10	自由時間	対面授業	家事	自由時間		朝食	朝食
11	昼食				対面授業	家事	家事
12		昼食	昼食	昼食		昼食	昼食
13						家事	
14	対面授業	自由時間	自由時間	課題制作			自由時間
15					家事		
16							
17							
18	風呂・夕食	風呂・夕食	夕食	対面授業	バイト	バイト	風呂・夕食
19							
20							
21	課題制作	息抜き等	課題制作	風呂・夕食	風呂・夕食	風呂・夕食	課題制作
22							
23			風呂	課題制作	自由時間	自由時間	
24							
1							
2	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
3							

課外活動団体の作品写真紹介

こちらのコーナーでは、課外活動団体の日々の活動により制作された作品の写真掲載致します。今回は、文化系サークル連合会より池坊華道部と写真部さくら組の作品です。

池坊華道部



「舞」 高梨菜央 (医学3年)

くねくねとした丹頂アリウムで踊っている様子を表現しました。黒い花器にピンクのガーベラが映えるように考えました。



「涼」 村上麻亜子 (社会4年)

モンテスラから伸びる3本のふといで風の流れを表現しました。



「ささやかなワクワク」 駿河くるみ (心理4年)

昨年の12月に生けた作品です。葉(キキョウラン)を輪にしたり、両端を2ヶ所の口にそれぞれ入れたりしたのがポイントです。全体的に可憐にまとめたながらも動きをつけました。

写真部さくら組



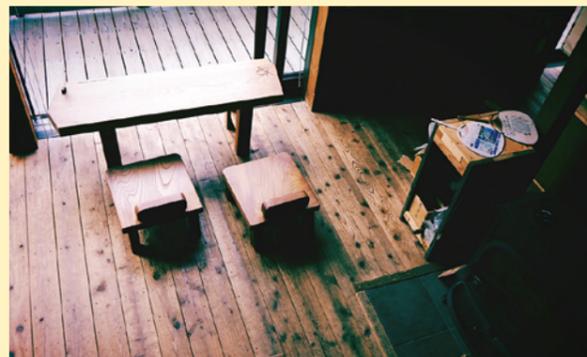
「大雪」 佐藤祐吾 (知識4年)

写真とタイトルが関係なさそうですが、撮影時期が季節を表す二十四節気の大雪(たいせつ)に当たるらしいです。



「夏の思い出」 志村行宣 (エシス3年)

どこか懐かしいような、小さなころを思い出しました。



「二人暮らし」 佐野和夏菜 (芸専4年)

箱根のカフェです。二対の物は二人暮らしを思わせます。

●次号では文化系サークル連合会より図画団、芸術系サークル連合会より写真部の作品を掲載いたします。

学生相談室から

総合相談窓口 029-853-8430
学生相談受付 029-853-2415

コロナ禍における学生の状況

新型コロナウイルス感染症対応の下での学生生活が1年以上続いています。筑波大学でも多くの授業がオンライン化され、現在も状況に応じて継続しています。では全国の大学で、どの程度オンライン授業が行われていたのでしょうか。良かったと感じられている点、悪かったと感じられている点は何でしょうか。

今年5月に、文部科学省による「新型コロナウイルス感染症の影響による学生等の学生生活に関する調査(結果)」が公表されました。それによると、全国の大学生(有効回答者:1,744名)が令和2年度後期に履修した授業のうち、オンライン授業がほとんど又はすべてだったと回答した学生は、全体の6割に達しました。全体的な満足度としては、自分のペースで学習できることなどから、不満を感じる学生より満足を感じる割合の方が多かったのですが(満足・ある程度満足を合わせて56.9%)、友人と受けられない、レポート等の課題が多い、双方向のやりとりの機会が少ないなどといった否定的な意見も多く回答されたそうです。

昨年度は教員も手探り状態であったために、本学の総合相談窓口にも、課題の多さや授業の双方向性の少なさを訴える相談がよせられました。今年度は比較的オンライン学習に関する相談は減っているような印象ですが、変わらず届けられる声が、人との交流の乏しさです。上記の全国調査でも、学内の友人関係が悩んでいるとする学生は約30%に上り、特にその多さは学部1年生に顕著だったとされています。悩みの内容は、友人が思うように作れないことと、友人と思うような交流が出来ないことが、4分の3を占めていました。

社会的情勢によって対面での交流はやはり難しいと言わざるをえない時期もあります。学生相談室でも、ビデオ会議

人間系 田附あえか

ツールRemoを用いて、自由に交流できるスペース「ランチタイムカフェ」を運営しています。学生相談室公認のピア活動「ピア・サポート」では、Twitter上での質問ツール「マシュマロ」を用いて、オンラインによるつぶやきポストを運営しています(ご関心のある方はホームページ(<https://soudan.sec.tsukuba.ac.jp/>))をご覧ください。総合相談窓口・学生相談室には、コロナ禍で、単位取得や対人関係などで苦労をしている学生からの相談も多く寄せられています。もしお子様がお困りのようでしたら、ぜひお勧めください。

大学でも色々な工夫がされていますが、それでも人は直接人に会いたいようです。学習自体はオンラインのメリットもあるでしょう。しかしながら、授業前後の雑談、ふとした情報交換、偶然出会う古い友達、変えた髪型へのちょっとした誉め言葉、たまたま一緒になった先生と図書館から教室まで歩いて移動する間の指導、そういった生活の彩りを増やすようなやりとりは何にも代えがたいものがあります。そんな交流が早く回復することを祈っています。

第2期分授業料納付期日のお知らせ

2021年度第2期分授業料の納付期日は以下の通りとなります。口座引落の方は11月26日(金)までに指定口座へご入金下さい。また、引落口座の手続きを行っていない方に対しては、専用の振込用紙を送付しておりますが、原則として口座引落による納付としておりますので、来年度以降は口座引落となるよう手続きをお願いいたします。

金額 267,900円(ただし、法科大学院は402,000円)
引落日 11月29日(月) 納付期限 11月30日(火)
■お問い合わせ 財務管理課出納担当(収入) 029-853-2161

桐の葉日記

今年の梅雨は長そうだなと思いつつ、晴れている日はキャンパスに行きたくなる。

オンライン授業へ移行してもう2年。学内に行けばサークル活動している団体や芝生の上で寝そべっている人が散見され、自分の慣れ親しんでいた景色が少しだけ戻ってきているのを見て安心する。自分はもう修士2年ということもあり、研究メインの生活では必ずしもキャンパスに来る必要はあまりない。そんな中だからこそふと思つ、あと何回ここに来られるのかな。懐かしい顔ぶれのほとんどが東京で仕事をしている。あの時のキャンパスはもう無い。だからこそ、今感じられるキャンパスでの諸々を大切に覚えておきたいのだ。

もしあなたが、石の広場でコーヒーを飲んでいるとき急に話しかけられたとしても驚かないでほしい。それはこれを書いている私かもしれないのだ。笑って一緒に少し話してくれたあなたは、いつか私の大切な思い出になるだろう。

(文責/芸術系サークル連合会広報局員 梁安吉子・人社群人文P2年)

紫峰の風 第21号 2021年7月発行

発行 事業開発推進室

編集 学生部学生生活課

学生広報会議

(菟場広翔・知識2年、佐藤翔哉・物理2年、村松翔・エシス3年、内田小稀・資源2年、中嶋梨花・資源3年、梁安吉子・人社群人文P2年、小林桃子・比文2年、角達之介・医学3年)

広報部会

(河原井かれん・芸専4年、高見沢仙美・応理4年、村松真緒・社会3年)

タイトルロゴデザイン 塚本真理(芸専2016年度卒)

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

電話:029-853-5886 E-mail: gk.shihokai@un.tsukuba.ac.jp

筑波大学紫峰会基金WEBサイト

<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/shihokai/>



紫峰の風送付先変更の連絡はこちら

E-mail: renkei@un.tsukuba.ac.jp 電話: 029-853-2030